

原

第3回亀倉雄策賞受賞展



研

H A R A K E N Y A
E D I T E D



哉

W O R K S

2001年4月2日|月|—4月27日|金| 11:00 a.m.—7:00 p.m. (水曜日は8:30 p.m.まで) 土・日・祝祭日休館 入場無料

●主催:クリエイションギャラリーG8 ●共催:社団法人日本クラフトデザイナー協会 亀倉雄策賞事務局 ●協賛:(株)竹尾 大日本印刷(株) 凸版印刷(株) 日本写真印刷(株) (株)日本デザインセンター

Creation
G8
クリエイションギャラリーG8
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル1F
tel: 03-3575-6918
<http://www.recruit.co.jp/GG/>

EXPO



和紙製職機つくり
Washi Shikubi Zushiki
© 2000-2001, Hara Kenya

REDESIGN

REDESIGN

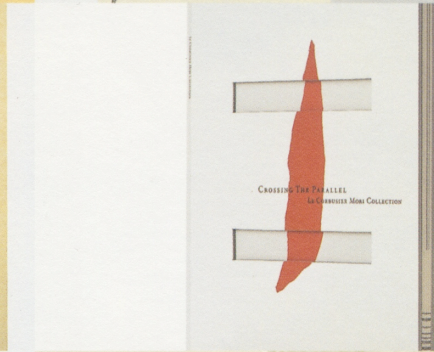
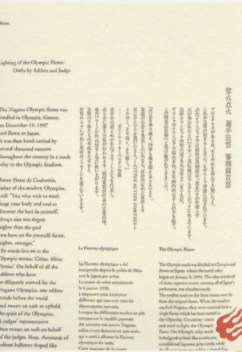
日常の21世紀

株式会社第一編
監修：日本デザインセンター・東京デザインセンター 主催：JAGDA

REDESIGN

日常の21世紀

株式会社第一編
監修：日本デザインセンター・東京デザインセンター 主催：JAGDA



上段左より書籍『紙とデザイン』(2000)、「RE DESIGN」展覧会空間(2000)、書籍『RE DESIGN』(2000)、中段左より「長野オリンピック開会式プログラム」(1998)、カレンダー「EXPO 2005 JAPAN」(1999)、書籍『CROSSING THE PARALLEL』(1999)、下段左より雑誌広告「im product」(1997)、カタログ「ヴァンヌーボ」(1999)、梅田病院サイン計画(1998)

亀 倉雄策の晩年の仕事場を拝見したことがある。雑誌クリエイションの校正で、大きなルーペを手に、ポジフィルムと校正刷りを丹念に見比べておられた。それはある作家の古いポスターで、ポジフィルムは変色してぼろぼろ。しかし校正刷りは、往時の色調を再現して鮮やかだった。再現がおぼつかない文字は、新たに一から組み直されており、それは編集レイアウトというより復元、復刻の作業であった。その緻密な集中に、ポスター作家としての雄大さとは別の、亀倉雄策のグラフィックデザインに対する情熱と執念を感じた。田中一光、永井一正に次ぐ受賞は、自分としては眩しすぎる気もするが、亀倉雄策の豊かな多面性を賞で表現してゆくとするならば、私もその一翼に加えていただくことができるのかもしれない。受賞対象となった「紙とデザイン」は、竹尾の紙業100年の記念事業の一環で、50年に及ぶ紙とデザインによる成果を展覧会として表現し、また書籍の形で記録するものだった。私としては渾身の仕事だったので、受賞は素直に嬉しい。展覧会では、ここ数年の仕事をしてできるだけご覧に入れたいと考えている。展覧会そのものを演出するのではなく、何を考え、どのような仕事に取り組んできたかということ率直に伝えられる展示形態をとろうと思った。つまり実物の作品に加えて、見やすい形に再編集して自分の仕事を展覧するもので、タイトル「EDITED WORKS」はそこから来ている。——原研哉



原研哉 Hara Kenya

1958年生まれ。1983年武蔵野美術大学大学院修了。1983年日本デザインセンター入社。1989年から紙商社竹尾の「PAPER WORLD」のアートディレクションを手掛ける。91、92年、そのポスターによりADC賞受賞。95年にはニッカウキスキーやAGFの仕事をもとめたパッケージデザイン集『SKELETON』(六耀社)、96年にはエッセイ集『ポスターを盗んでください』(新潮社)を刊行し、日本文化デザイン賞、講談社出版文化賞ブックデザイン賞を受賞した。1996年には日本建築家協会「建築家たちのマカロン展」、「2005年国際博覧会日本案プレゼンテーション」のアートディレクションを担当。1998年には空間デザインの領域に活動の幅を広げ、梅田病院サイン計画でサインデザイン大賞を受賞した。長野冬期オリンピックでは、開・閉会式プログラムのアートディレクションを担当。同年、「アイムプロダクト」のカタログで、ニューヨークADC賞特別賞受賞。1999年にはEXPO 2005 AICHIの公式ポスターをはじめとする総合的なプロモーションデザインを担当。2000年には竹尾紙業100周年事業として計画された「RE DESIGN」「紙とデザイン」の展覧会及び出版をプロデュースし、原弘賞、第17回国際インダストリアルデザインビエンナーレにてICOGRA大賞、ICSID大賞、毎日デザイン賞を受賞している。

【亀倉雄策賞】：1997年に急逝したグラフィックデザイナー亀倉雄策の生前の業績をたたえ、グラフィックデザイン界の発展に寄与することを目的として、亀倉雄策賞が設立されました。この賞の運営と選考はJAGDA(社団法人日本グラフィックデザイナー協会)が行い、毎年「JAGDA年鑑」出品作品の中から、年間で最も優れた作品に対して贈られます。

2001年4月2日|月—4月27日|金 11:00 a.m.—7:00 p.m. (水曜日は8:30p.m.まで) 土・日・祝祭日休館 入場無料

●主催：クリエイションギャラリーG8 ●共催：社団法人日本グラフィックデザイナー協会 亀倉雄策賞事務局 ●協賛：(株)竹尾 大日本印刷(株) 凸版印刷(株) 日本写真印刷(株) (株)日本デザインセンター

第124回クリエイティブサロン | ゲスト 原研哉 + 深澤直人 (プロダクトデザイナー) | テーマ：知っているけど分かっていないこと 二人のデザイナーが語る、デザインを発想する道筋と周辺。 MOMAでの作品発表を終えたばかりの深澤氏との新鮮対談。